

令和3年度 Sport in Life 推進プロジェクト
(スポーツ実施を阻害する課題解決のための実証実験)

「子供が運動を好きになる！」

身体能力の定量的な測定と

オン/オフラインのパーソナライズ運動プログラム処方」

事業報告書

令和4年2月18日

株式会社アシックス

令和3年度 Sport in Life 推進プロジェクト
(スポーツ実施を阻害する課題解決のための実証実験)
「子供が運動を好きになる！身体能力の定量的な測定と
オン/オフラインのパーソナライズ運動プログラム処方」
事業報告書

目次

1. 本事業の目的
 2. 本事業の実施概要
 - (1) 本事業のターゲット
 - (2) ターゲットのスポーツ実施の阻害要因、促進要因（事業実施前の仮説）
 - (3) 本事業で期待される効果
 3. 本事業の実施内容
 - (1) 事業の実施概要
 - (2) 事業の実施結果
 4. 本事業の実施体制
 - (1) 本事業の実施体制
 - (2) 本事業の実施スキーム
 5. 事業の実施効果（スポーツ実施頻度、実施意欲の改善効果）
 - (1) 効果検証方法
 - (2) 効果検証の結果
 6. スポーツ実施改善の要因の分析（阻害要因や促進要因の仮説検証）
 7. 本事業から得られた波及効果
 8. 今後の事業展開予定
 - (1) 事業継続や横展開に向けたポイント、課題
 - (2) 次年度以降の事業継続、横展開の計画
 - (3) 今後の事業展開に向けて期待される Sport in Life プロジェクトにおける取組
 9. 終わりに
- 参考資料 アンケート調査票・分析結果詳細

1. 本事業の目的

子供が運動を好きになり、子供の運動実施時間が増加すること。

また保護者の子供に対する運動教育意識を醸成するための要因を見つけること。

2. 本事業の実施概要

(1) 本事業のターゲット

【メインターゲット】 保育園に通う未習熟児（2～6歳）



- ・周りの子供との比較により、スポーツに対して苦手意識がある/好きではない
- ・スポーツを習ったことがなく、どうすればうまくできるかわからない
- ・皆の前でスポーツで失敗し、恥ずかしい経験をしたことがある

【サブターゲット】 メインターゲットの親、通う保育園とその体育教師



- ・自身も運動が好きではなく（苦手）、子供を連れて外で遊ぶことが少ない
- ・運動不足であり、改善の意思はあるものの、運動の始め方がわからない



- ・スポーツが得意な子に合わせてしまい、苦手な子のフォローができていない
- ・運動遊びの機会を児童に対して多くは提供できていない
(運動遊びの方法がわからない)

影響

(2) ターゲットのスポーツ実施の阻害要因、促進要因（事業実施前の仮説）

仮説①	保護者、幼児施設の運動に対する考え方は子供に大きく影響するため子供・保護者・幼児施設の3者にアプローチすることで、子供の運動時間増加に寄与する。 →補足検証：運動時間が増加することで、結果的に運動能力は向上する
仮説②	保護者が運動が好きではなく、そのため子供と共に遊ぶ機会が少ない。ただし自身の運動不足の改善意思はあるため、親子で行う運動を教える動画を配信することで、親子での運動実施が増加する。
仮説③	幼児施設の体育教師はあまり運動を実施できていない/スキル習得重視の指導になっている。(何かをできるようになることを重視)

(3) 本事業で期待される効果

子供が運動を好きになり、運動時間が増加することで結果的に運動能力も向上する。

また運動に関する親子間でコミュニケーションが増加することで、特に親子で一緒に運動する時間が増加する。

3. 本事業の実施内容

(1) 事業の実施概要

・キッズスポーツチャレンジ+足形計測の実施 (10/26、2/2、2/7・8)

・走力・跳躍力・調整力・バランス力・投力・キック力に関する合計6項目
+ 足形を計測 → 月例別に評価 (※2歳児は4項目のみ)

新規 ・LINE公式を用いて保護者に返却 (いつでもLINE上で確認可能)

・オンラインの運動動画の配信 ・オフラインの運動指導の実施
(毎週土曜日・全12回) (毎週火曜日・30分×全9回)

新規 測定結果によってカスタマイズしたオスメの「うんどうあそび動画」を毎週1回LINE公式を通じて送付

新規 楽しく・身体を動かす運動遊び指導の実施
→ 外で身体を名一杯動かす機会の増加
(体操教室は普段通り実施+下記を毎週30分)

キッズスポーツチャレンジ
・足形計測の様子

測定結果FB ホーム画面

LINE公式の画面

18種類の「うんどうあそび動画」

運動指導の様子

“フルツサラダ”で遊びながら走力を養う様子

ボールを真上に上げてキャッチすることで調整力を養う様子

けんけんをすることでバランス力を養う様子

ボールを思い切り投げることで、投力を養う様子

(2) 事業の実施結果

- ・神奈川県・横浜市の保育園1園

(30名：2歳クラス10名、3歳クラス8名、4歳クラス4名、5歳クラス4名)
に対しては、以下を実施した。

- ①キッズスポーツチャレンジ測定 (10/26・2/1、介入前・介入後)
- ②オフライン運動指導 (毎週火曜日・各クラス30分×全9週)
※コロナ禍の影響で、全10回予定から9回へ変更
- ③オンラインでの「うんどうあそび動画」の配信 (毎週土曜日・全12回)
- ④LINE公式を通じてアンケート (事前・中間・事後、対象：保護者・児童)

- ・兵庫県・淡路市の保育園1園

(74名：3歳クラス25名、4歳クラス26名、5歳クラス23名)
に対しては以下を実施した。

- ①キッズスポーツチャレンジ測定 (2/7・8、介入途中の1回のみ)
※コロナ禍の影響で、介入前後測定予定から介入途中1回のみに変更
- ②オンラインでの「うんどうあそび動画」の配信 (毎週水・土曜日・全12回)
- ③LINE公式を通じてアンケート (1回のみ、対象：保護者・児童)

4. 本事業の実施体制

(1) 本事業の実施体制

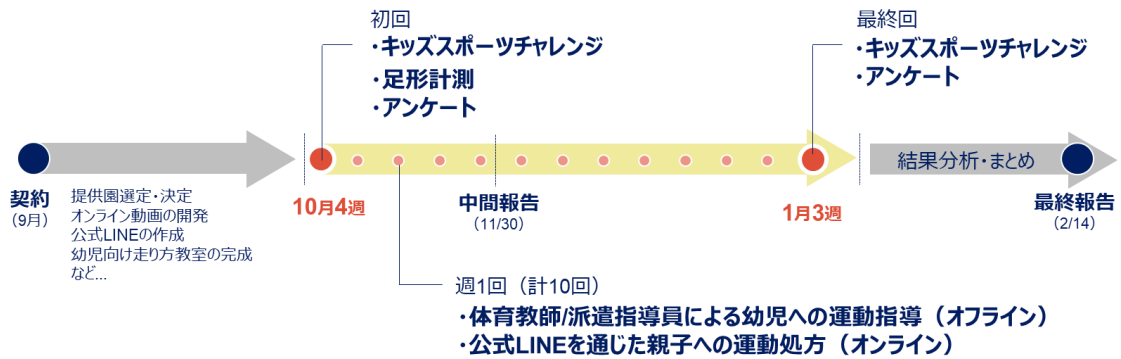
役割	所属団体名	従事者役職・氏名
・全体統括・判断	株式会社アシックス	勝真理、品山亮太
・子供へのオフライン運動指導 ・「うんどうあそび動画」監修	株式会社アシックス	小坂真
・企画・進行（ディレクター） ・データ分析、報告 ・運動指導補助 ・キッズスポーツチャレンジ計測補助	株式会社アシックス	大野真澄
・営業（プロデューサー） ・LINE 公式開発 ・「うんどうあそび動画」撮影・開発 ・保護者へのオンライン配信	株式会社モシーモ 株式会社モシーモ	竹村由賀子 有松克晟
・キッズスポーツチャレンジ計測 ・足形計測	アシックスジャパン 株式会社	計4名

(2) 本事業の実施スキーム

「子供の運動実施時間の低下・運動能力の低下」、「保護者の運動教育意識の低下・時間のなさ」等の社会課題を解決するため、オフライン・オンラインの両方を用いてトータルで提供する運動サービスを全国に展開する。

特に子供に対してはオフラインでの直接の運動指導、親に対してはオンラインにて運動処方を実施することで、親子の運動に関わるコミュニケーションの時間を増加させ、結果的に子供が運動を好きになることで、一生涯に渡る運動実施率を向上させる。

スケジュールおよび実施計画を下記に示す。（開始前計画）



	担当	2021年												2022年	
		9月	10月	11月	12月	1月	2月	1月	2月						
各種準備															
・実験協力依頼・被験者確保	モシーモ														
・公式LINE作成	モシーモ														
・幼児向け運動あそびコンテンツの追加開発	ASICS														
・運動あそび指導者育成	ASICS														
・幼児向け運動動画の開発	モシーモ														
・アンケート作成	両社														
実証実験															
・キッズスポーツチャレンジ測定会+足形計測	両社+AJP			・											
・親、幼児施設へのアンケート (LINE)	モシーモ			・											
・運動教室 (オフライン) の実施	ASICS+モシーモ			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
・運動動画配信 (オンライン) の実施	モシーモ			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
・LINEを通じたお客様対応	モシーモ			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
・中間報告	ASICS					・									
・キッズスポーツチャレンジ測定会	両社+AJP											・			
・親、幼児施設へのアンケート (LINE)	モシーモ											・			
結果分析・まとめ															
・結果収集・分析	ASICS														
・データまとめ	ASICS														
・被験者への結果FB	ASICS														
・最終報告	両社														・

5. 事業の実施効果（スポーツ実施頻度、実施意欲の改善効果）

(1) 効果検証方法

・事前/中間/事後アンケート（保護者・子供）の実施（詳細は最終頁）

保護者および子供に対して、LINE 公式上からアンケートを実施した。

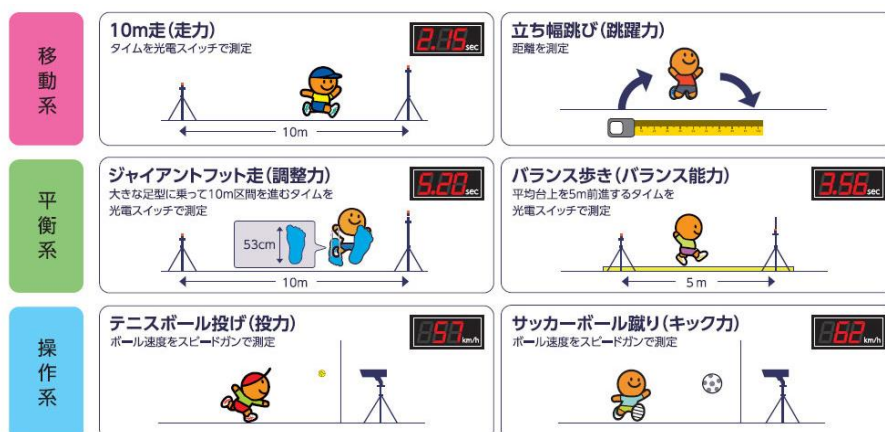
キッズスポーツチャレンジ計測前（事前）、6/12 週目終了時点（中間）、

キッズスポーツチャレンジ計測後（12 週間後）の 3 回において実施した。

・キッズスポーツチャレンジ計測 / 3次元足形計測

介入前後でキッズスポーツチャレンジを実施し、身体能力の変化（「走力」、「跳躍力」、「投力」、「キック力」、「調整力」、「バランス能力」の 6 種目）を定量的に評価した。測定した記録は、表やグラフを使って分かりやすく示すとともに、同じ月齢の平均値との比較、得手不得手のバランスなど、各自の運動技能の発達レベルを詳しく分析したデータなどをお伝えした。

また、子供用の足型計測機を利用し足形計測を実施し計測サイズおよび写真をお返しした。



※参考：キッズスポーツチャレンジの測定 6 種目

※サンプル結果

下記のような縦長の画像を LINE 公式上で保護者 1 人 1 人に対してお返した。



KIDS SPORTS CHALLENGE

測定場所 横浜南アスкул 日時 2021年10月26日

大野真澄 さま 性別 男 年齢 6 月齢 77

身長 115.7 cm 体重 20.3 kg

測定結果

種目名	系列	記録	能力レベル	得点
10m走	移動系	2.69	52	3
立ち幅跳び	移動系	1.32	64	4
ジャイアントフット走	平衡系	26.84	48	3
バランス歩き	平衡系	2.56	53	3
テニスボール投げ	操作系	32	51	3
サッカーボール蹴り	操作系	26	52	3

同月齢の中での能力レベルを示し、50が平均となります。



はじめての測定はいかがでしたか？大切なことは「得意／不得意」や「できる／できないよりも、あそびを通していろいろな動きを経験し、「運動をすき」になることです。家族や友達と楽しくあそびながら、いろいろな動きを経験していきましょう！

保護者様
得意／不得意にとらわれず、さまざまなスポーツにチャレンジして可能性を広げてください！「運動は脳の発達を促進する」とも言われています。

測定項目とオリンピック種目の関連性は？

運動能力	測定項目	オリンピック関連競技
基礎系	走力 10m走 (走力を測ります)	陸上競技(短距離)・サッカー・バスケ・バスケットボール・アイスホッケー
	跳躍力 立ち幅跳び (できるだけ高く跳びます)	陸上競技(短距離)・体操・バレーボール・バドミントン・テニス
運動系	バランスポイント走 (歩幅の上をバランスをとりながら、できる限り早く走ります)	スケートボード・カーテージ・サーフィン・ボート・セーリング・柔道
	調整力 ジャイアントフット走 (大きな足で歩くと中心足で歩くと比べて、できる限り早く歩きます)	柔道・新体操・蹴球・バレーボール・バドミントン・バスケ
操作系	ボール投げ ジャイアントフット走 (ボールを投げて、ゴールに落とす)	陸上競技(投擲)・テニス・野球・ソフトボール・バレーボール
	サッカーボール蹴り (ボールを蹴って、ゴールに落とす)	サッカー・ラグビー・フットボール

足形計測の結果



	右足	左足
足長 [mm]	178.2	178.9
足囲 [mm]	179	180
JIS足囲	2E	2E

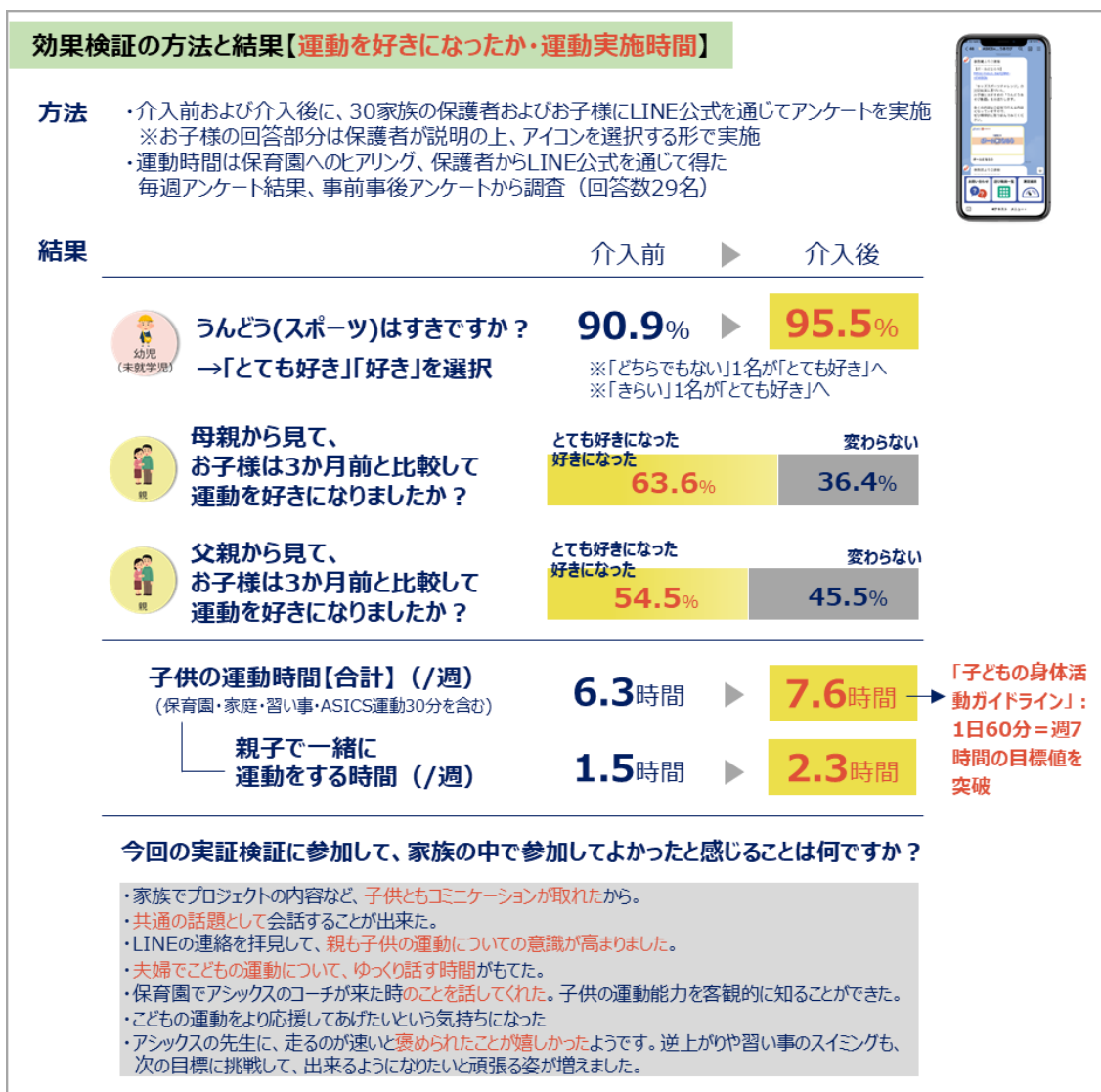
推奨くつサイズ **18.5** cm

※実際の写真 (あしうら)



(2) 効果検証の結果

【子供が運動が好きになったかどうか】【子供の運動時間】(アンケート結果より)



6. スポーツ実施改善の要因の分析（阻害要因や促進要因の仮説検証）

結果に基づく要因の分析（仮説検証）


仮説①	保護者、幼児施設の運動に対する考え方は子供に大きく影響するため 子供・保護者・幼児施設の3者にアプローチすることで、子供の運動時間増加に寄与する。
結果	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">○</div> <div> <p style="color: #e57373; margin: 0;">運動を好きになり、運動時間が増加。特に親子で一緒に運動する時間が増加。</p> <p style="color: #e57373; margin: 0;">幼児施設での運動を中心に、親子間でコミュニケーションが増加</p> </div> </div>

もともと90%を超える高い水準から、さらに向上した。

介入前に運動が「きらい」と回答したお子様が「とても好き」になった。
 このお子様の保護者の評価も3か月前と比較して「とても好きになった」であり、特にオフラインの運動指導に対して、「こどもが楽しんでいた」。全体に対しては「夫婦でこどもの運動について、ゆっくり話す時間がもてた。」とコメントを頂いた。

➡

結論 【保育園の出来事をきっかけに、保護者と子供とが運動について話す・考える時間が増加したこと】が大きく起因していると推測される。




幼稚園
保育園
幼児施設


キッズスポーツ
チャレンジ

・楽しい運動
の提供

運動に関する親子間コミュニケーションの増加



幼児
(未就学児)





親

「●●先生が褒めてくれた」
 「こんな運動をした」
 「公園でやりたい」

「今日のASICSどうだった？」
 「投げるのが得意なんだって。キャッチボールしよう」

動画の提供
測定結果の共有





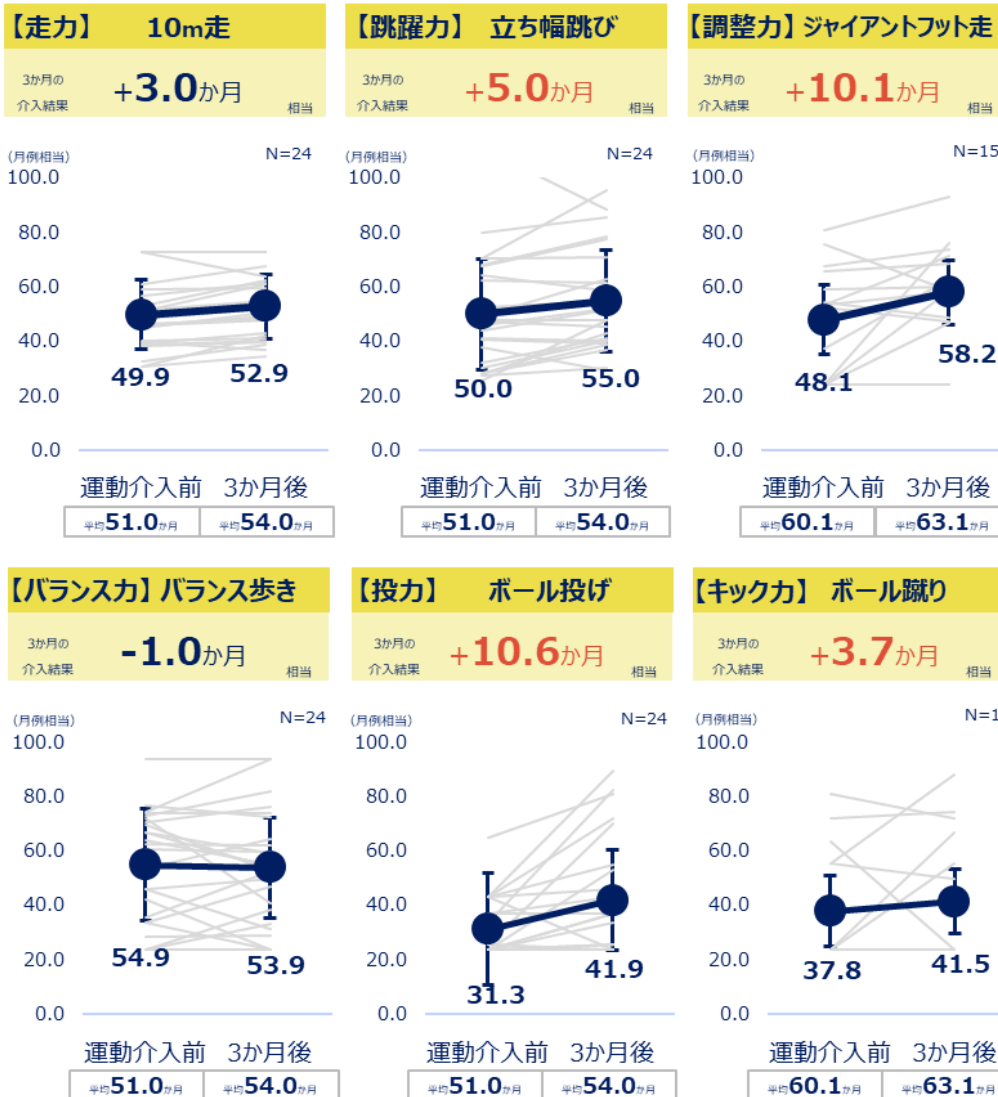
10

7. 本事業から得られた波及効果

① オフライン運動指導の結果（キッズスポーツチャレンジ計測結果より）

**3か月間のASICS運動指導により、
跳躍力・調整力・投力・キック力の能力が、身体成長分以上に大きく向上**

※子供の運動能力を可視化する「アシックスキッズスポーツチャレンジ™」を3か月間の介入前後で実施
(2021/10/26~2022/2/2)
※測定結果を過去15000名分のデータから月例相当に変換し比較（=3.0か月以上分は介入効果あり）



※約15000人分の過去の計測データを基にした近似式より各測定結果を高精度に月例相当に変換。近似式R2 = (左上から) 0.93, 0.99, 0.97, 0.94, 0.98
※1回目、2回目両方に参加した24名（ジャイアントフット走とボール蹴りは15名）を解析対象
※ジャイアントフット走、ボール投げ、ボール蹴りで計測不可の場合最小値（24か月相当）に変換して計算

②保護者の運動意識調査

③保育園の運動指導状況

効果検証の方法と結果【保護者の運動意識】

方法

- ・介入前および介入後に、30家族の保護者およびお子様にLINE公式を通じてアンケートを実施
- ※お子様の回答部分は保護者が説明の上、アイコンを選択する形で実施
- ・運動時間は保育園へのヒアリング、保護者からLINE公式を通じて得た毎週アンケート結果、事前事後アンケートから調査（回答数29名）

結果

	はい	いいえ
幼児期に運動をさせることは大切だと考えている？	93%	7%
運動は好きですか？（母親）	59%	41%
運動は好きですか？（父親）	77%	22%
定期的に運動を実施（母親）	20%	80%
定期的に運動を実施（父親）	29%	71%
自身の運動時間を増やしたい（母親）	86%	14%
自身の運動時間を増やしたい（父親）	91%	9%





総配信動画数： **210**回

総再生回数： **229**回

（30名・前半7週間のみ、週に1度）

※開始直後の11/1付近のみ閲覧数大
➡それ以降は急激に減少

効果検証の方法と結果【保育園の運動指導状況】

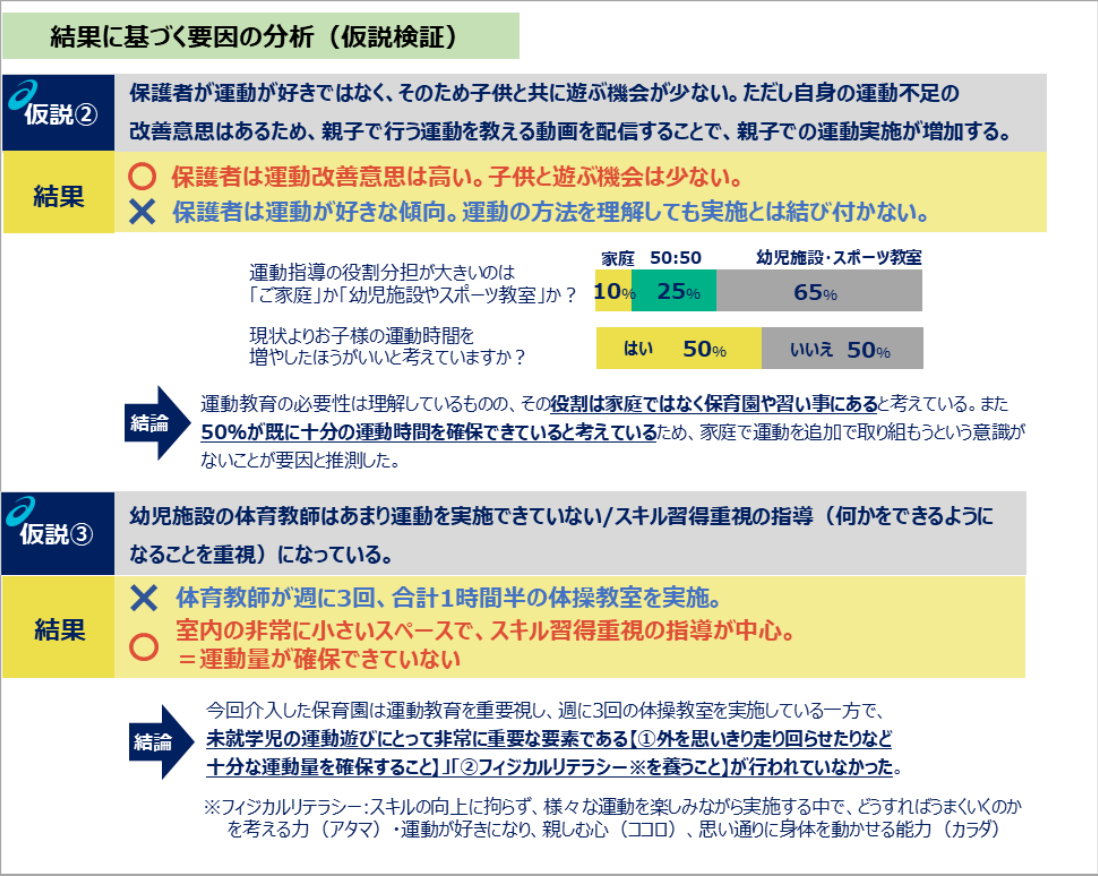
室外→



↓室内



- ・体育教師が1名
- ・園には校庭がほぼ存在せず、室内の運動スペースは非常に小さい（7m×5mほどの空間）
- ・週に3回、各30分の体操教室が室内で行われている（内容は跳び箱、マット運動、縄跳び、ボール遊びなどが中心）
- ・外には公園に週5回連れていくが、内容は各自自由（砂遊びなど（運動以外）が中心）
- ・保護者からは小学校受験のために「逆上がりができるように」「なわとびができるように」してほしいといったスキル上達の要望が多い



8. 今後の事業展開予定

(1) 事業継続や横展開に向けたポイント、課題

①家庭での運動時間確保の必要性

厚生労働省「子どもの身体活動ガイドライン」によると、1日60分以上、週420分以上身体を動かすことを推奨している。WHOや多くの国々でも同様の目標値を掲げている。



※参考：https://www.japan-sports.or.jp/portals/0/acp/pdf/ACS_05.pdf

本検証実験にて介入した横浜市の保育園は園長が体育教師も兼ねていることもあり、運動教育への意識が高く、子供の運動時間(週)は介入前から6.3時間と予想より高い値であった。一方で事前調査では特に都市部で園庭のない保育園や、勉強・受験に注力する保育園ではさらに週間運動時間が短いことが判明している。

しかし、仮に保育園に対して運動介入を行っていった場合でも、運動時間の確保への貢献としては限界があり、家庭での運動時間の増加をいかにさせるかが課題である。

一方で今回の検証事業内アンケート結果より習い事にて運動をさせている時間は平均0.5時間(/週)であり、また事前調査において、**週に1回以上、外(園以外)で遊ぶ頻度は【保育園児】63.2% 【幼稚園児】92.8%**ということが明らかとなっており、家庭内、家庭外ともに運動時間が短いことが示唆される。

(引用：<https://www.gakken.co.jp/kyouikusuken/whitepaper/k201708/chapter4/07.html>)

以上から、いかに家庭に入り込み、本検証実験で示唆されたように、如何に「保護者と子供が運動について話す・考える時間を増やさせる」かが、家庭での運動時間の増加へのポイントとなると考える。

②「子供自由遊び」の時間の増加の必要性

一方で、Canadian Sports Centres が発行する「LONG-TERM DEVELOPMENT IN SPORT AND PHYSICAL ACTIVITY 3.0」では、Adult-led play（大人が導く運動）と Child-led free play（子供自由遊び）の概念が説明されている。これによると **6歳までの子供における運動の種類推奨比率は25%：大人が導く運動が75%：子供自由遊び**とされている。特に6歳までの幼少期においては、子供自身が公園を駆け回り自由に遊ぶような運動（Unstructured-Play）を多く行わせることの重要性を説いている。

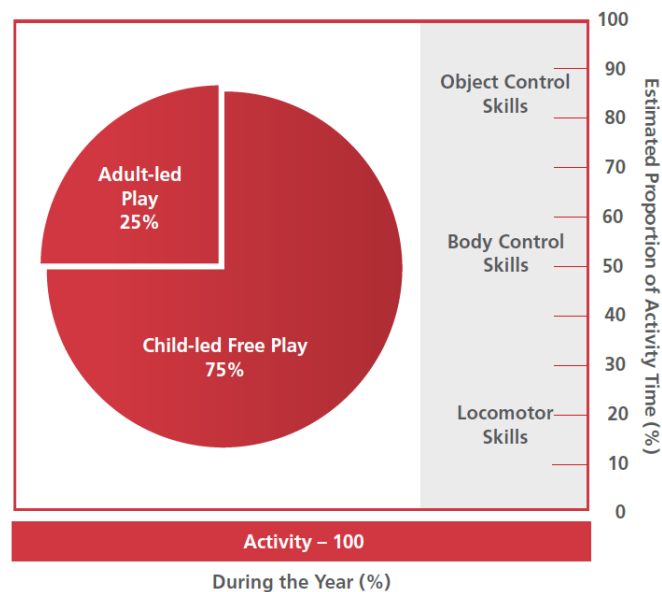


Figure 6: Active Start Activity Summary

※参考：<https://sportforlife.ca/portfolio-view/long-term-development-in-sport-and-physical-activity-3-0/>

このことから、習い事や保育園での体操教室などの運動の他に、積極的に子供を公園等に保護者が連れていき、自由に遊ぶ時間の確保が必要であると考えられる。

③運動実施の定量化

運動時間の目標値（週 420 分以上）と運動の種類推奨比率（25%：大人が導く運動が75%）の考えを組み合わせ、子供に行わせるべき適切な運動内容を鑑みた場合、**315分は子供自由遊び、105分は大人が導く運動**となる。

大目標：運動時間1日あたり60分、週420分を目指す
※ただしそのうち315分は子供自由遊び、105分は大人が導く運動

- 保育園に対して、保育園での運動時間を回答頂く
- 保護者それぞれが、最初のアンケートで習い事の種類の時間を入力頂く
- 残りの目標時間に合わせた運動プランをご提案する



これらの目標値を明確にしたうえで、達成度合いの明確化のため、子供の運動実施時間の定量化の方法の開発が必要と考える。方法として例えば、子供用活動量計やTUNEGRID（参考：<https://asiestunegrid.net/>）を用いて子供の活動量を定量化し、保護者に対してわかりやすい指標で見える化する仕組みが必要である。

④各家庭での事情を鑑みた運動提案

さらに、保育園での運動実施状況と、ご家庭での運動実施状況を事前にヒアリングすることで、お子様1人1人が足りていない運動は「大人が導く運動」かあるいは「子供自由遊び」かを判定し、不足部分の時間を定量的に表示することが可能となる。

子供の運動教育の達成状況を可視化する
※特に父親の育児参加を数値化してあげる



進捗状況を可視化



共有のWEBページが公式LINE等で
運動状況や目標達成度合いを見える化
 (父親の育児への貢献を見える化)

また、LINE 公式を始めとしたオンラインでのコミュニケーションを通して、より家庭の状況（両親の勤務形態、運動教育への考え方、目的、比較的实施可能な時間や形態など）を調査することで、より1人1人にカスタマイズした運動プランを提供可能となる。

(2) 次年度以降の事業継続、横展開の計画

本検証事業のキッズスポーツチャレンジ計測、オフラインでの運動指導、オンラインでの運動処方と組み合わせて、より無理なく各ご家庭で子供の運動時間増加を可能とするトータル運動処方サービスを展開したい。

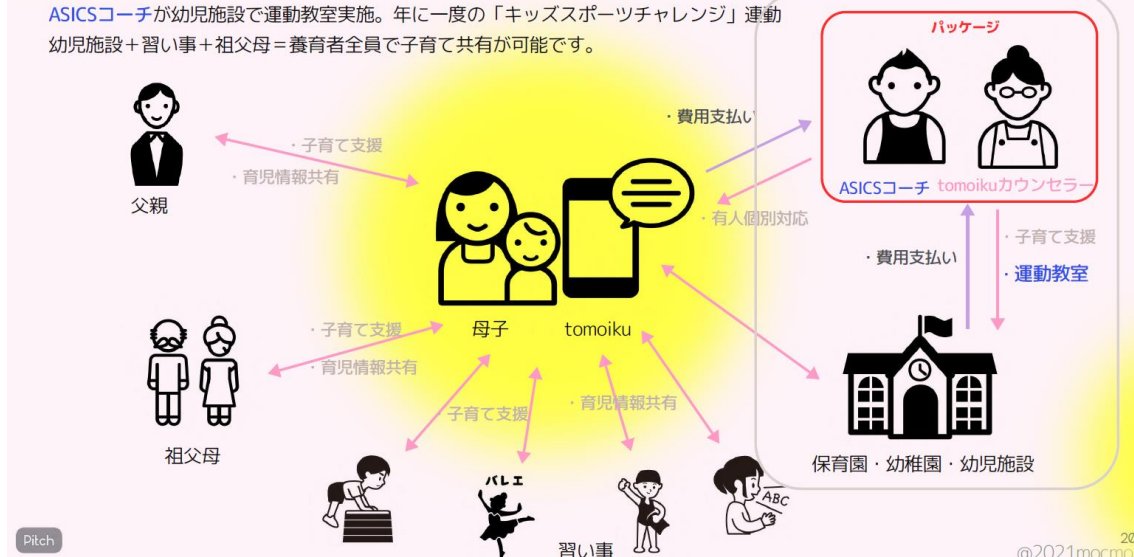
今後の事業展開プラン (案)



構成団体である株式会社モシーモ社と協業し、子育てに関係するあらゆるサービスを1つのプラットフォームから提供する「tomoiku」サービスに参入し、運動指導の部分をASICSが担い、お客様に届ける仕組みを開発する方向性も同時に検討する予定である。

● tomoikuプラットフォーム概要
子育て共有プラットフォーム「tomoiku」とは？

ASICSコーチが幼児施設で運動教室実施。年に一度の「キッズスポーツチャレンジ」運動
幼児施設+習い事+祖父母=養育者全員で子育て共有が可能です。



(3) 今後の事業展開に向けて期待される Sport in Life プロジェクトにおける取組

採択事業の中で、特に将来性が見込まれスポーツ庁が参画することが望ましい事業があれば、検証事業の後も引き続き実際の事業化まで入り込み、広報を含めサポート頂けるような取組ができることを期待する。

9. 終わりに

参考資料 アンケート調査票・分析結果詳細

- ・その他考察

キッズスポーツチャレンジ測定結果に関する考察

○ 運動能力の大きな向上が見られた

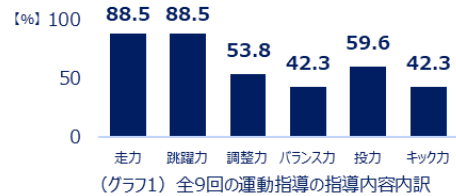
外で駆け回り運動量を確保しつつも、投げる、蹴るなど様々な運動を実施させた結果、多くの項目で向上が見られた。

調整力（真似をしたり、身体を上手く使う能力）では値の低い幼児の向上が大きく、一方で投力は能力の元々高い幼児で大きな向上が見られた。

基本的には運動指導時間と能力の向上が一致していた（※グラフ1）

走力・跳躍力はウォーミングアップ、体操やメインのゲームの中で常に時間を取って取り入れた。

また、調整力・投力を鍛える運動も他と比較して多かった。特に多く指導した内容が基本的には能力の向上と一致している。



× バランス力・走力で運動能力向上が見られなかった

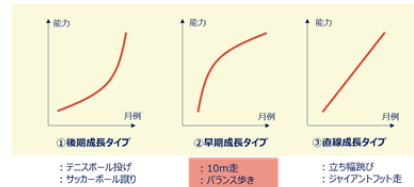
持久力向上のための走力向上運動になっていたこと

運動量をできる限り多く確保するため、3分間走り続けるような動きをさせながら走力向上を試みた。しかし普段外での運動を積極的に行っていない園児が多かったため、走力よりも持久力向上の運動となっていた可能性がある。そのため瞬発的な能力にはつながらず、測定項目：10m走のタイムには表れなかった可能性がある。

被験者の月例と能力向上時期の不一致

今回の運動介入によって大きな効果が見られなかった2種目は、どちらも②早期成長タイプの種目（図1）。

今回の被験者30名の平均月例は51.0か月であり、既に成長後、能力向上がなだらかになっている時期にあった可能性がある。



(図1)

キック力の向上がほどほどであった原因は、基礎能力の低さと指導回数の少なさか

これまで園内でほとんど蹴る動作を実施できておらず、そもそもの能力がかなり低い値であったこと（初回計測時は月例平均60.1歳にもかかわらず、能力が37.8か月相当であった）から、能力ベースで考えるとまだ前期の段階であったことが考えられる。

また、比較的難易度の高い運動であることから、運動指導の回数を多く行えなかった（後半のみ）ことも要因かと推測される。

保護者の運動教育意識に関する考察

○ 保護者自身の運動への意識が平均より低い（仮説通り）

仮説では、保護者は「①運動不足気味で、どちらかと言えば運動は好きではない」「②改善の意思はあるものの運動の始め方がわからない」ために、子供への運動機会を十分に与えられていないと考えていた。

現在、定期的に運動を実施していますか？

はい 25%	いいえ 75%
--------	---------

上記のアンケート結果からも①は正しく、全国平均（男性35.9%、女性は28.6%）※よりもさらに低かった。

✕ 忙しい中でもいつでも再生できる「うんどうあそび動画」はあまり閲覧されなかった

「うんどうあそび動画」をあまり再生しなかった理由として、「子供が興味を示さない（5名）」「忙しくて余裕がない（3名）」「内容がつまらない（親判断）（2名）」「スマホでは取り組みにくい（1名）」「スマホで見せたくない（1名）」があった。この中で検証実験中に対応できる対策として、動画をLINE公式上だけでなく、Youtube（非公開表示）で見られるように設定をし、ご家庭の環境によってテレビの大きな画面で実施できるように8週目より変更を行ったが、閲覧数の大きな向上にはつながらなかった。

✕ 母親・父親の役割分担は家庭により異なる

子供と公園等に連れていくのは母親の方が多くのではないかと考えていたが、共働きという性質上、週末に父親が連れていく家庭も約半数いることが明らかになった。LINE公式では当初母親のみとコミュニケーションを行っていた（後に父親も追加を試みたが任意にしたため登録率は低かった）が、ご家庭により役割がことを考えると、「うんどうあそび動画」の配信も運動を実際にさせる側の保護者に対して直接行うことができれば、より効果的な可能性がある。

お子様と一番外遊びをされる方はどなたですか？

母親 50%	父親 45%	友人 5%
--------	--------	-------

結果に基づく要因の分析（仮説検証）

育休やアルバイト・パートなどで平日昼に十分に運動のための時間が取れる割合はわずか14%。

母親の勤務形態

- 時短勤務 45%
- フルタイム勤務 41%
- 育休中 14%
- アルバイト・パート 0%

運動時間を増やすことができない理由は何ですか？（母親）

- ・最も多い回答：時間がない
- ・その他の回答
 - ：習い事に任せている
 - ：教え方がわからない
 - ：子供が運動を好きではない
 - ：親が運動を好きではない

お子様の為にご家族でされているスポーツの取り組みなどがあれば教えてください。	何らかの運動を実施 38%	特になし・未回答 62%
お子様が得意な運動は何かわかりますか？	わかる 72%	わからない 28%
お子様が苦手な運動は何かわかりますか？	わかる 48%	わからない 52%
習い事で運動をさせていますか？	41%	59%
現状より運動時間は増やしたほうが良いと考えていますか？	はい 50%	いいえ 50%

→ 週平均約0.5時間

・事前・中間・事後アンケート

事前アンケート
お子様の年齢をご記載ください、複数いらっしゃる場合は、全員分ご記載ください（例：3歳10ヶ月、1歳8ヶ月、3ヶ月）
お母様の年代をお選びください
お母様のご職業をお選びください
お母様の現在の勤務形態をお選びください
旦那さまのご職業をお選びください
世帯年収をお選びください
現在お子様のご興味のあることについて伺います。該当するものをすべてお選びください。※複数選択可
上記で選択されたものでどのような対策をしているかを教えてください
現在お子様の為にサブスクリプション（費用課金システム）にてお支払いされているコンテンツはありますか？
「はい」とお答え頂いた方に質問です。具体的に何の為にいくらの支払いをされていますか？（例：子ども映画を見せるためDisney+チャンネルを毎月1980円で契約している）
契約されている方に質問です。契約期間をお選びください
保育料を除いた、毎月のお子様への教育費概算金額をお教えてください
幼児期に運動することは大切だと考えている
「はい」とお答え頂いた方に質問です。お子様の為にご家族でされているスポーツの取り組みなどがあれば教えてください。（例：父親が野球が得意なので、キャッチボールを教えている）
お子様が得意な運動は何かわかりますか？
お子様が苦手な運動は何かわかりますか？
保育園以外でお子様は週に何日、運動(スポーツ)をしていますか？（習い事、公園で遊ぶ、家の中でボールを使って遊ぶなども含む）
1回あたりの運動時間を教えてください。
親子で運動する機会は週に何日ありますか？
一回あたりの時間を教えてください
うんどう(スポーツ)は好きですか？
ほいくんいがいで、うんどう（スポーツ）をしたいとおもいますか？
どくいなうんどうはどれですか？
にがてなうんどうは、どれですか？

中間アンケート
氏名(提出名簿順)
ここからの11問は、ご家族の方への質問となります。ご不在の場合は、お母様が代理にてご記載ください
ご協力いただく方、お子様との関係性をご記載ください
運動が好きですか？得意ですか？
現在、定期的に運動を実施していますか？
「はい」と答えた方に質問です。どんな運動を実施していますか？
お子様に、ご自身が運動(スポーツ)を教えていますか？教えている場合どんな運動(スポーツ)ですか？
お子様に運動をさせたい理由は何かですか？例：スポーツが得意になって欲しい、礼儀を学んでほしいなど
平日に、お子様と一緒に過ごす、1日あたりの時間をお教えてください。
休日にお子様と一緒に過ごす、1日あたりの時間をお教えてください。
お子様と一緒に運動(スポーツ)する機会は、週に何日、合計何時間でしょうか
運動講師に聞いてみたいことはありますか？
「ある」と答えた方に質問です。具体的にどんなことを聞いてみたいですか？
ここからは、お母様にご質問です！
(ここからは、お父様にご質問です！)
保護者様から見て、実施前と比較して、お子様は運動を好きになりましたか？
保護者様から見て、実施前と比較して、お子様の運動能力は上がったと感じますか？例：力が強くなった、前よりもボールをうまく使えるようになった、身体を早く動かせるようになった、片足で踏ん張る力が強くなった、など
お子様と一緒に、家族で運動する機会は増えましたか？
「運動」と聞いて、ご自身の考えに当てはまるものはどれでしょうか？
「うんどうあそび動画」は何回程度再生されましたでしょうか？
親子で、「うんどうあそび動画」の内容を、何回程度実施していただきましたでしょうか？
動画（テレビ以外）を子どもに見せていますか？
動画を見せるときの方法はどのようなやり方ですか？
お子様に動画を見せることについての、お考えに近いものをお答えください
12月4日配信の「うんどうあそび動画」は見ましたか？
うんどう遊び動画が現状の再生回数である理由を教えてください。*スマホでは動画を見せない、動画が長い..など
日教
時間
お子様と一緒に運動(スポーツ)する機会は、週に何日、合計何時間でしょうか
現状の運動時間より、1週間あたりの運動時間は増やしたほうがいいとお考えでしょうか？
「はい」と答えた方に質問です。現在の運動時間と比較して何時間増やすイメージでしょうか？
「はい」と答えた方に質問です。現在、実現できない理由は何故でしょうか？*自分自身が遊ばせ方がわからない、時間がない、子供が外遊びが嫌いなど
ご家庭の運動と幼児施設やスポーツ教室の運動の時間配分や運動指導の役割分担として、何対何をイメージされていますか？
幼児施設（運動授業）や運動教室に求める内容はどれが当てはまりますか？
ご自身は運動が好きですか？得意ですか？
現在、定期的に運動を実施していますか？
「はい」と答えた方に質問です。どんな運動を実施していますか？
お子様に、ご自身が、運動(スポーツ)を教えていますか？教えている場合どんな運動(スポーツ)ですか？
お子様に運動をさせたい理由はどのようなものになりますでしょうか？例：スポーツが得意になって欲しい、礼儀を学んでほしいなど
平日に、お子様と一緒に過ごす、1日あたりの時間をお教えてください。
休日にお子様と一緒に過ごす、1日あたりの時間をお教えてください。
お子様と一緒に運動(スポーツ)する機会は、週に何日、合計何時間でしょうか
運動講師に聞いてみたいことはありますか？
「ある」と答えた方に質問です。具体的にどんなことを聞いてみたいですか？

事後アンケート
お子様が得意な運動は何かわかりましたか？
お子様が苦手な運動は何かわかりましたか？
保育園以外でお子様は週に何日、合計で何時間、運動(スポーツ)をしていますか？(習い事、公園で遊ぶ、家の中でボールを使って遊ぶなども含む)(例：4日、13時間30分)
保育園以外でお子様は週に何日、合計で何時間、"習い事"で運動(スポーツ)をしていますか？
保育園以外でお子様は週に何日、合計で何時間、"ご家族と一緒に"運動(スポーツ)をしていますか？
ご自身から見て、2021年10月頃と比較して、お子様は運動を好きになりましたか？
ご自身から見て、2021年10月頃と比較して、お子様の運動能力は上がったと感じますか？(例：力が強くなった、前よりもボールをうまく使えるようになった、身体を早く動かせるようになった、片足で踏ん張る力が強くなった、など)
2021年10月頃と比較して、お子様と一緒に家族で運動する機会は増えましたか？
「うんどう遊び動画」は何回程度再生されましたでしょうか？
2021年10月頃から、親子で「うんどうあそび動画」の内容を、何回程度実施していただけましたでしょうか？
一番ご覧いただけ動画はどのような動画でしたでしょうか？(例：跳ねる動画、クマさんの動画)
ご自身は1週間に合計で、どの程度の運動をしていますか？(例：3時間30分)
ご自身の運動時間を増やしたいと思いますか？
運動する目的を教えてください
ご自身の不安・不満・課題を教えてください。(例：睡眠時間が足りない、家計的な不安、自身の体調など....)
お子様について不安・不満・課題を教えてください。(例：子供の学力、言うことを聞いてくれない、公園遊びが嫌い、食事など....)
ご自身以外の養育者への不安・不満・課題を教えてください。(例：夫が育児参加しない、祖母と育児価値観が違うなど....)
LINEを通じた動画の閲覧、測定結果の確認、問い合わせなどの使いやすさはいかがでしたか？
そう答えた理由を教えてください
「うんどう遊び動画」はわかりやすかったですか？
「うんどう遊び動画」についてのご感想を教えてください
「アシックス×mocmoうんどう遊び」プロジェクト全体を通して、満足度はいかがでしたか？
「体力測定イベント」「運動遊び動画」「アシックス運動授業」の中で最も効果があった、楽しめたものを選択ください
またその理由も教えてください
もしも「体力測定イベント」「運動遊び動画」「アシックス運動授業」を今後継続してご利用いただく仮定した場合、お支払い頂ける金額をお教え下さい。
もしも「運動遊び動画」の配信のみのご利用いただく仮定した場合、お支払い頂ける金額をお教え下さい。
今回の実証検証に参加して、運動以外のことで家族の中で参加してよかったと感じることはありましたか？
あると答えた方に質問です。具体的にどのような内容でしょうか？
運動時間の共有をラインを通して行いました。運動時間は全体を通してどうでしたか？
上記の変化した理由はどういったものが考えられますか？
ご自身以外にもご家族にLine公式のご登録をしていただけましたか？
「はい」とご回答いただいた方にご質問です。ご家庭でのやり取りに何か影響を与えましたか？具体的なシチュエーションがあれば教えてください。
お子様と一番外遊びをされる方はどなたですか？
運動に関することで最もお考えに当てはまるものを一つお選びください。
うんどう(スポーツ)は好きですか？
ほいくえんがいいで、うんどう(すばーつ)したいと思いませんか？
どくいなうんどうは、どれですか？
にがてなうんどうは、どれですか？
ここからは、ご家族の方への質問となります。ご不在の場合は、代理にてご記載ください
ご協力いただく方の、お子様との関係性をご記載ください
お子様が得意な運動は何かわかりましたか？
お子様が苦手な運動は何かわかりましたか？
ご自身が、お子様と一緒に運動(スポーツ)する機会は、週に何日、合計何時間でしょうか
ご自身から見て、2021年10月頃と比較して、お子様は運動を好きになりましたか？
ご自身から見て、2021年10月頃と比較して、お子様の運動能力は上がったと感じますか？(例：力が強くなった、前よりもボールをうまく使えるようになった、身体を早く動かせるようになった、片足で踏ん張る力が強くなった、など)
「うんどう遊び動画」は何回程度ご覧になりましたでしょうか？
2021年10月頃から、親子で「うんどうあそび動画」の内容を、何回程度実施していただけましたでしょうか？
運動に関することで最もお考えに当てはまるものを一つお選びください。
ご自身は1週間に合計で、どの程度の運動をしていますか？
ご自身の運動時間を増やしたいと思いますか？
運動する目的を教えてください
ご自身の不安・不満・課題を教えてください。(例：睡眠時間が足りない、家計的な不安、自身の体調など....)
お子様について不安・不満・課題を教えてください。(例：子供の学力、言うことを聞いてくれない、公園遊びが嫌い、食事など....)

子供への質問方法（保護者が説明をし、子供自身が下記から画面タッチで選択）

うんどう(スポーツ)は好きですか？ *

とても好き



好き



どちらでもない



きらい



とてもきらい



ほいくえんいがいで、うんどう（スポーツ）をしたいとおもいますか？ *

とてもおもう



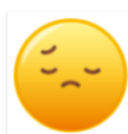
おもう



どちらでもない



おもわない



まったくおもわない

